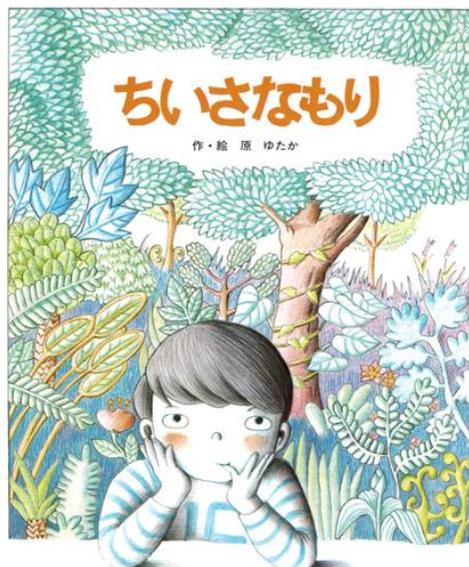


児童書作家 原ゆたかが人生で初めて刊行した絵本『ちいさなもり』
半世紀ぶりに電子書籍で復刊！

株式会社フレーベル館(代表取締役社長 吉川 隆樹)は、「かいけつゾロリ」シリーズ(ポプラ社)などの生みの親で、児童書作家・イラストレーターの原ゆたかさんが、1975年に初めて刊行した絵本『ちいさなもり』を、約半世紀の時をこえて電子書籍として2024年5月に復刊、発売を開始いたしました。

■書籍紹介



本書は、1975年に刊行された絵本『ちいさなもり』を、電子書籍にて復刊したものです。現在、著者は「かいけつゾロリ」シリーズ(ポプラ社)の作者としても、多くの作品を世に送り出していますが、それよりも前に書かれた貴重な1冊。現在の作風とはまた違った、色鉛筆で描かれた作品です。

- ・作・絵 : 原ゆたか
- ・発行年月 : 2024年5月
- ・定価 : 1,430円(税込)
- ・ページ数 : 本文32ページ
+インタビュー記事8ページ

書籍詳細ページ : <https://book.froebel-kan.co.jp/book/detail/9784577003107>

■内容紹介

ぼくの住む町は昔、森だったんだって。
じゃあ、ぼくの家のお庭はどんなだっただろう？
きっと大きな木が生えていて、その木には実もなって、
周りにたくさんの草が生い茂っていて…。



子どもの豊かな想像力を、色鉛筆の繊細なタッチで描いた作品です。



■ 電子版特別付録！！ 原ゆたかの“原点”を探るインタビュー記事掲載！

巻末には付録として、『ちいさなもり』を巡る、8ページの特別インタビュー付き。イラストレーターになったきっかけ、『ちいさなもり』が生まれた発想の源と刊行されるまでの苦勞。電子書籍として復刊することや、デビュー作として『ちいさなもり』へ抱く特別な思い。「アンパンマン」の作者である、やなせたかしさんとの秘話など、初めて語られる、原ゆたかの“原点”に迫る内容です。

インタビュー記事項目

・初めは電子化に抵抗感も

ご自身の作品を電子書籍化することに、最初は抵抗感を覚えたという原ゆたかさん。しかし時が経つにつれ、少しずつ考え方に変化が…。

・「演出」することが好きだった

元々何かをクリエイต์することが好きで、子どもの頃は映画監督になりたかったが、とある理由で断念し…。貴重な子どもの頃のお写真も掲載！

・人生で初めて手がけた書籍

美大の受験、家出をして四国の放浪、飛び込みで出版社回りをした20代の日々…。『ちいさなもり』出版の軌跡とこのお話ができた背景に迫る。

・原ゆたかとやなせたかし

「アンパンマン」の作者、やなせたかしさんと不思議な縁で繋がっている原ゆたかさん。やなせたかしさんのお茶目な一面が垣間見えるエピソードも！

・原点となった『ちいさなもり』

電子版となったこの作品を見て改めて感じる『ちいさなもり』への思いとは。

特別付録

創作の“原点”にせまる 

原ゆたか インタビュー

1975年に刊行された、原ゆたか先生初めての絵本『ちいさなもり』が、半世紀の時を経て電子書籍として復刊。手がけられた当時のことから、現在のお仕事への不思議なつながりまで、その想いをお聞きました。



原ゆたか

1953年、熊本県生まれ。イラストレーターであり、児童書作家。
1975年に『ちいさなもり』（フレーベル館）で絵本作家デビュー。主な作品に「ほうれんそうマン」「かいけつゾロリ」シリーズ（以上、ポプラ社）などがある。

◎ご購入は各種電子書籍販売サイトより！

Amazon Kindle : <https://amzn.asia/d/3FU9eAD>

楽天 kobo : <https://a.r10.to/ThSNi0>

紀伊國屋 : <https://www.kinokuniya.co.jp/f/dsg-08-EK-1778212>

Honto : https://honto.jp/ebook/pd_33408862.html

■フレーベル館の事業内容

「アンパンマン」シリーズや「ウォーリーをさがせ！」シリーズをはじめとした児童書の出版や、保育関連施設向けの遊具・教材・玩具の販売、そして室内あそび施設事業の展開、園運営など、子どもたちの健やかな育ちを支え続けるために、子どもに関わる事業を幅広く手がけています。

・フレーベル館コーポレートサイト <https://www.froebel-kan.co.jp>



<本件に関するお問合せ先> フレーベル館 広報担当 kouhou@froebel-kan.co.jp